

「環境に良い」フローリング材、 原料はどこから？

ータスマニアの原生林由来の輸入合板ー



熱帯林行動ネットワーク J A T A N

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-23-16 第二得丸ビル 3F

TEL : 03-5269-5097 FAX : 03-5269-5097

WEB : <http://www.jatan.org/>

E-mail : info@jatan.org

JATAN
JAPAN TROPICAL FOREST ACTION NETWORK
熱帯林行動ネットワーク

タ・アン・タスマニアとは？

タスマニア林業公社と、マレーシア最大の林産物企業の一つであるタ・アン・ホールディングスの合併会社です。2006年にタスマニア林業公社、タ・アン・プライウッド、日本の住宅建材輸入会社、三井住商建材との間でパートナーシップが締結され発足しました。タスマニアのヒューオンとスミストンに2ヶ所の単板工場を持っています。

タ・アン・タスマニアの施業

保護価値の高い森林や原生林（オールド・グロース林）を原料に、合板の原料となる単板を生産しており、2010年には13万m³を超えるユーカリ材単板が生産されました。ここで製造された単板はマレーシアのタ・アン合板工場まで運ばれ、そこでフローリング用の合板に加工されます。

タスマニアの木材はどこへ？

2010年には、タスマニアで生産された単板のうちの91%が、フローリング材という形で日本に輸出されました。そして、これらはPEFC認証を取得した「環境に配慮したタスマニア産ユーカリ材」として永大産業やパナソニック電工などによって製品として売り出され、積水ハウスやダイワハウスをはじめとした住宅メーカーなどによって使われています。

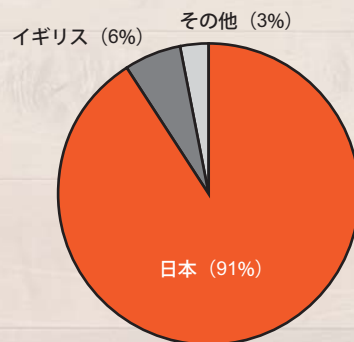


Huon Valley にある単板工場



Huon District ,Picton Valley における皆伐

タスマニア産合板の輸出先



TAH Annual Report 2010 より作成

何が問題なのか？



Huon Valley Environment Centre ,May 2011

- 1, 植林木を利用していると公言しているが実際は利用されておらず、PEFC認証材ではあるものの、原生林（オールド・グロース林）を伐採している。
- 2, また、タスマニアデビルやオトメインコなどの、固有種や絶滅危惧種の生息する保護価値の高い森林を伐採している。
- 3, このような木材を「環境にやさしい材」として流通しており、持続可能な木材製品を追い求めている顧客企業や消費者を欺いている。

PEFC認証の実際

PEFC (Programme for the Endorsement of Forest Certification) はFSCと肩を並べる、二大森林認証の一つです。PEFCは各国独自の森林規則を基準として採用しているため、世界共通の基準を持つFSCとは異なり、国によって基準に差が生じてしまいます。タスマニア産ユーカリ材がPEFC認証材として流通しているのに

は、PEFCが採用しているオーストラリア林業規格 (AFS) が背景にあります。AFSでは保護価値の高い森林や原生林 (オールド・グロース林) の皆伐が禁止されていません。そのためAFSに従い施業を行っているタ・アンにより、貴重な森林が合法的に伐採され、PEFC認証材として日本で流通しているのです。